

【議事録】

審議会等名	令和3年度第1回つくばみらい市健康づくり推進協議会
開催日	令和3年8月12日（木曜日）
開催場所	つくばみらい市役所伊奈庁舎 3階 大会議室
出席者	<p>〔出席者〕 7名</p> <p>小田川 浩 会長</p> <p>福田 敏男 委員</p> <p>松本 敦 委員</p> <p>青木 一郎 委員</p> <p>片見 礼子 委員</p> <p>秋田 政夫 委員</p> <p>飯塚 伸泰 委員</p> <p>〔欠席者〕 3名</p> <p>磯部 剛志 委員</p> <p>石井 則久 委員</p> <p>松本 譲二 委員</p> <p>〔事務局〕 保健福祉部長及び健康増進課 7名</p> <p>須加尾部長、関口課長、境野課長補佐、水野主査、 新関係長、堤精神保健福祉士、赤根主査</p>
議案	<p>(1) 健康つくばみらい21プランについて</p> <p>(2) その他</p>

議 事 概 要	<ul style="list-style-type: none"> ・開会 午後1時30分 ・委嘱状及び任命書交付 ・会長あいさつ ・議案 <ul style="list-style-type: none"> (1) 健康つくばみらい21プランについて <p style="text-align: center;">＜事務局より健康増進計画に基づき説明＞</p> <p>○委 員 コロナ禍により運動をする機会を奪われ大変な思いをしているが、これからも見通しは不透明であるので、マスク・消毒・距離などしっかりと感染対策をした上で運動を実施していく必要がある。また、地域のコミュニケーションがとれなくなってきたり、自宅にこもってしまうことで心理的な不安が増してきている。これはコロナ禍に限ったことではなくて、社会的な要因もあるが、プランを見ても体を動かすという市民の取組みが年々減少していることがわかり、運動指導者もいかに良い状況に持っていかを考えながらやっていく必要がある。</p> <p>○事務局 運動については、参加者を集めることに難しさを感じている。勧奨をかけても、現在は参加者が1割にも満たない。コロナ禍になる前は1割超の参加者があったが、それがどんどん減少してきているのは気になっているところである。地区に出向いて行う移動健康相談を実施しているが、コロナの感染が怖くて運動に行けず自宅にこもるという高齢者が、今まで以上にこの相談会に参加していることも気になっている。皆様のご協力をいただき、そういった高齢者を地域の活動に繋げられたらと思っているので、今後もお意見をいただけるようお願いしたい。</p> <p>○委 員 つくばみらい市制施行3年後に、子供から高齢者までがスポーツにより健康増進を高める総合型スポーツクラブを立ち上げたが、これは全国的に実施しているのだが、地方では参加者が集まらないという課題がある。国では、各小学校区単位で実施するのが望ましいと考えているが、いかに参加者を募って健康増進に繋げるかという工夫が必要である。</p> <p>○委 員 糖尿病予防、高血圧予防などに関する手紙をいただくことがあるが、これは業者委託をしているのか。</p> <p>○事務局 前年の健診結果をもとに、血糖値の高い方に対し糖尿病に関する教室については市が行っているが、重症化予防のた</p>
---------	--

	<p>めに分析を行った上で一人ひとりを指導していくものについては委託をしている。</p> <p>○委員 0120から始まる電話番号から着信があると、迷惑電話と思えない人が多い。そこを改善すればもっと繋がるのではないか。</p> <p>○事務局 協議して改善する。</p> <p>●承認</p> <p>＜事務局より食育推進計画に基づき説明＞</p> <p>○委員 先日あさのいちに行ってみたが野菜が少ないと感じた。雑貨の販売のほうが目立っていた。</p> <p>○会長 最近の傾向としては、いろいろな方が参加してくれるようになった。はじめは4Hクラブの方だけで野菜を販売していたが、今はフリーマーケットの参加者が増えている。</p> <p>○委員 若い家族連れの方が多かったので、こういった場所で食育というのもいいかなと感じた。コロナが収まったら出かけてPRしたいと思う。</p> <p>○委員 地域活動の推進で、まだ案の段階だとは思いますが、市内食育担当者連絡会（仮称）とはどういったメンバーを考えているか。</p> <p>○事務局 給食センターの栄養教諭、幼稚園及び保育所の栄養士や食育を担当している先生方に集まってもらい、食育に関する取り組みなどを報告し情報共有をしていく。まずは、市がそういったことを求めているということを知ってもらいたい。それが進んでいけば会として食育イベントを開催していけるのではと考えている。メンバーとしては、誰ということではなく食育に関与しているいろいろな方に参加してほしいと考えている。</p> <p>○委員 学校でいうと給食主任が中心になってくると思うが、そうなってくると幅広く食育主任というネーミングに変えていく必要があると感じた。</p> <p>それから、児童クラブへの夏休み期間中の食育講話の実施についてはありがたく思う。子どもの話ではあるが実際に食事の準備をするのは親なので、家庭教育学級の中にこういった食育講座を入れるようなことを教育委員会としても進めていきたいと考えている。</p> <p>○事務局 本来なら調理実習ができればと思うが、コロナ禍ということもあるので、できる範囲で実施していく。</p>
--	---

○委員 健康に良い和食をPRしてほしい。海外でもブームとなっている。本市も野菜の産地であるのでそれを利用しながら食育を訴えていく必要がある。実際に子どもたちが市民農園などで苗を植えるなどの体験を通し、食のありがたさを感じて勉強をしていくのがよい。本市は食材が豊富なので、生産者と消費者の連携も考えていければと思う。

●承認

<事務局より自殺対策計画に基づき説明>

○委員 ゲートキーパーの研修を受けた方は、その後の活動として市からサポートや依頼をしていくのか。

○事務局 そういうところにはまだ至っていない。

○委員 せっかく研修を受けたのにその知識を活用していないのはもったいない。そういう人たちに、相談窓口における協力依頼をして補助をするなども一つの手だと思う。

○事務局 検討していく。

○委員 自分の悩みを他人に話すことができれば解決策がまた見つかっていくのではないかと思うが、それができず一人で悩んでしまうことが問題である。

いじめ問題や高齢者の悩みなどいろいろあるが、相談できる体制を作っていくことが大切。是非そういった体制づくりを市へお願いしたい。

○事務局 相談窓口の啓発を工夫しながら行っている。警察庁の自殺統計によると、2020年は自殺者が増えており、中でも女性、小中高生が増えているという結果があり、これを踏まえた上での相談窓口、ゲートキーパーの育成・活用に努めていきたい。

●承認

・議案

(2) その他について

○事務局 今回今年度第1回目ということで開催させていただいた。2回目は2月頃を予定しているが、今年度の実績と来年度の具体的な計画について説明していきたいと考えている。皆様の出席をお願いしたい。

○会長 自殺対策について、ゲートキーパーの養成で留まり先に進

	<p>んでいないという事実があり、福祉部門は全体的に受け身になってしまう傾向がある。待つのではなく出ていく方向に変えていく必要がある。計画としては出来上がっているので、目的を達成するための戦略を練っていけばよいと思う。市民に対しては「あなたを見ている。誰一人取り残さない。」というのが基本である。今回の3つの計画を一つとして進めていきたい。</p> <p>●承認</p> <p>・閉会 午後2時55分</p>
<p>そ の 他</p>	<p>傍聴者 1人</p>